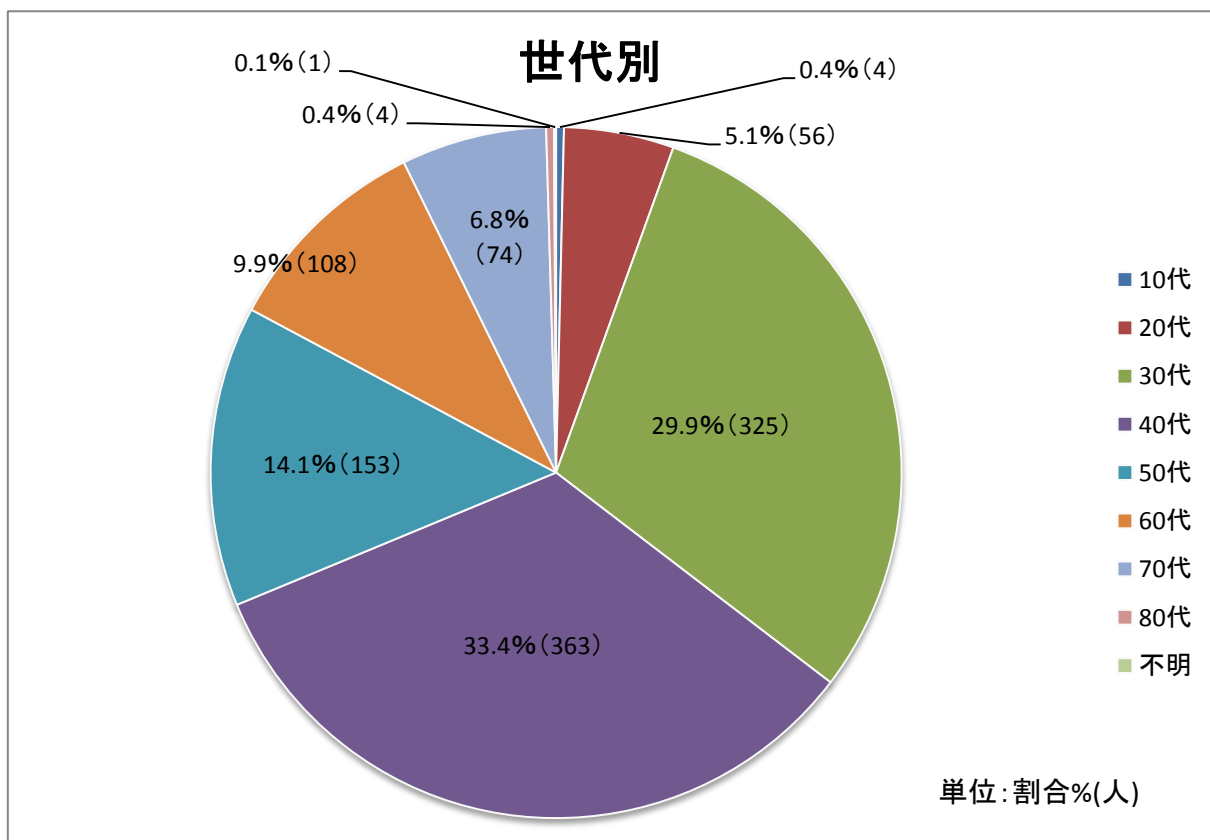
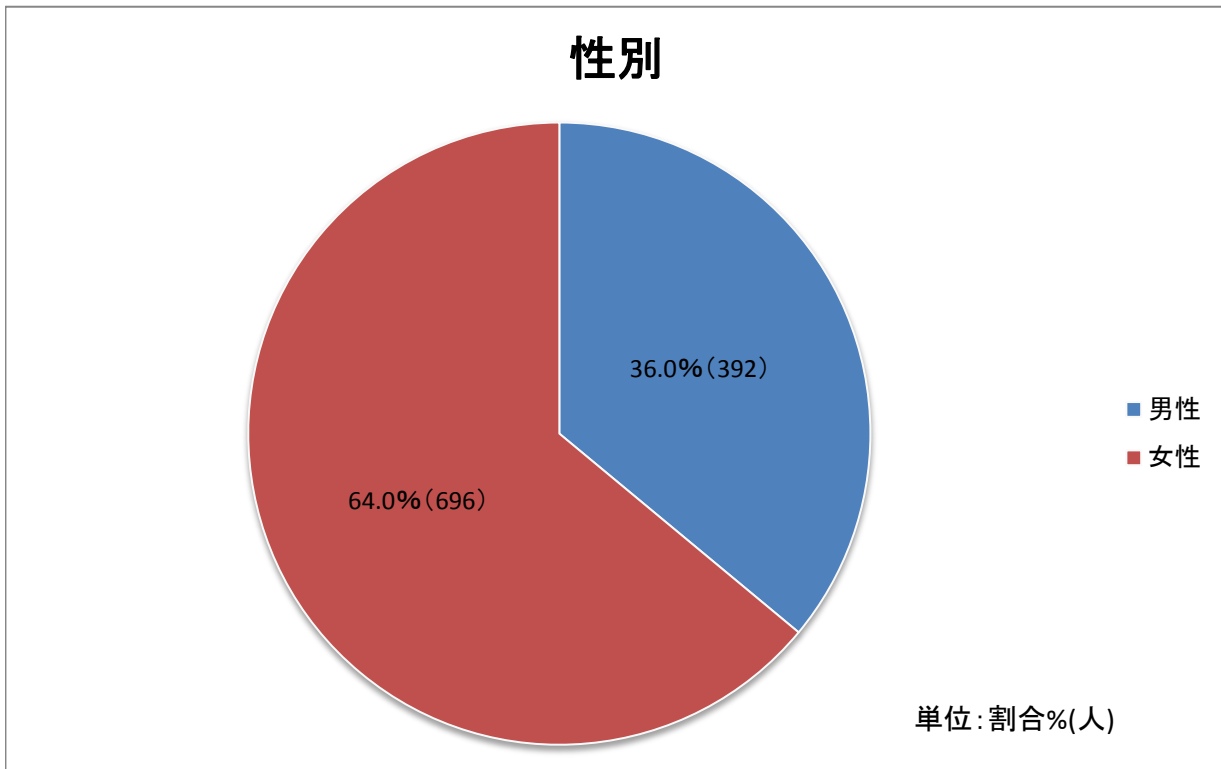
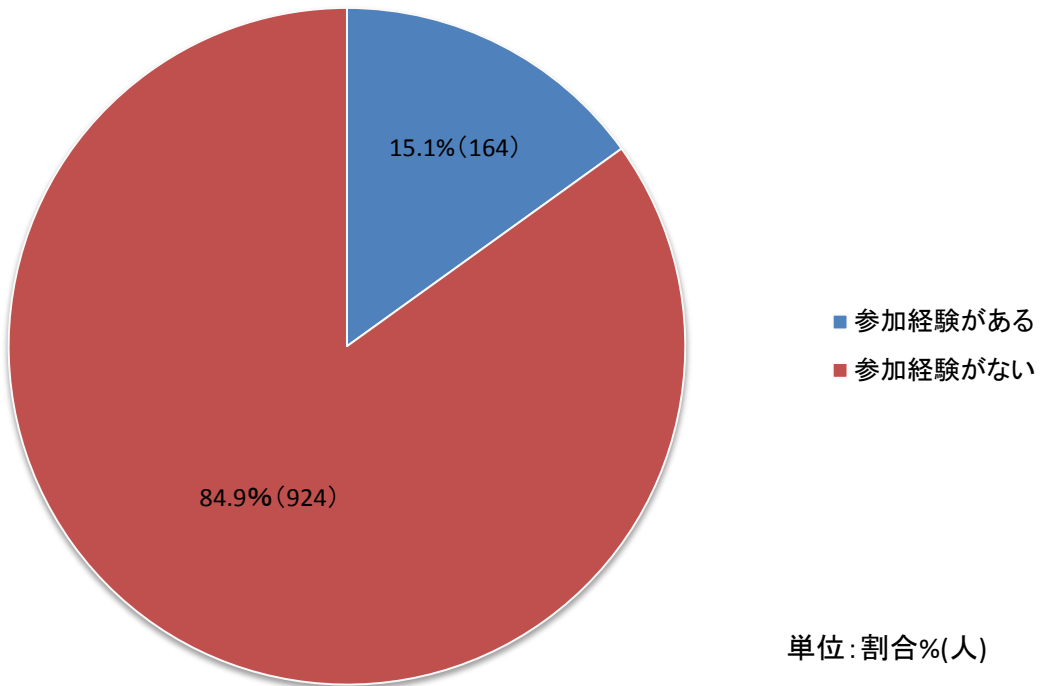


# 第1回eモニターアンケート「防犯ボランティア活動について」

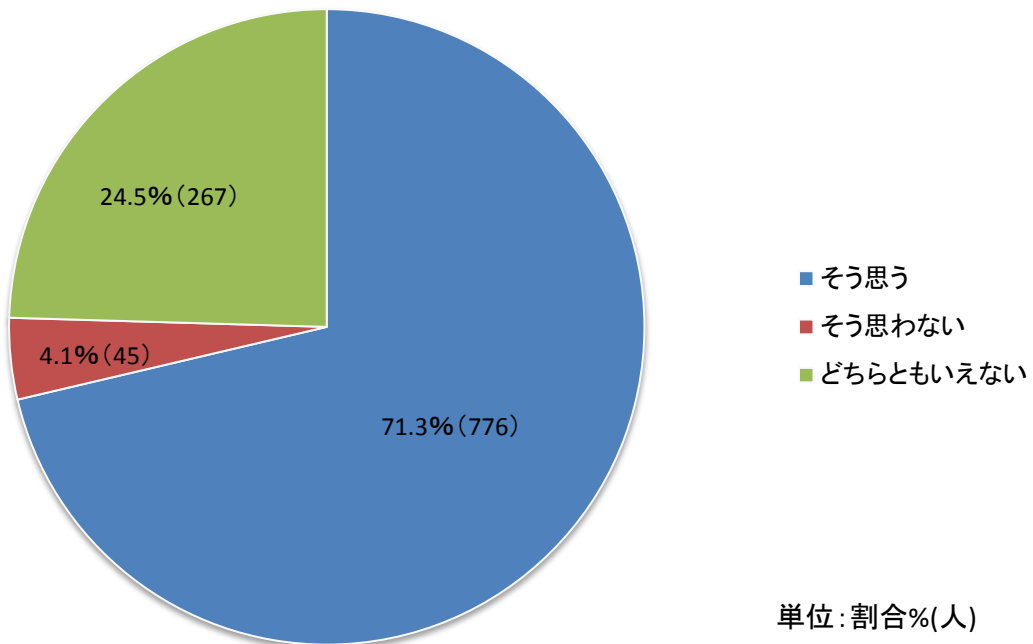
実施期間 平成28年6月9日 ~ 平成28年6月18日  
回答数 1088 人



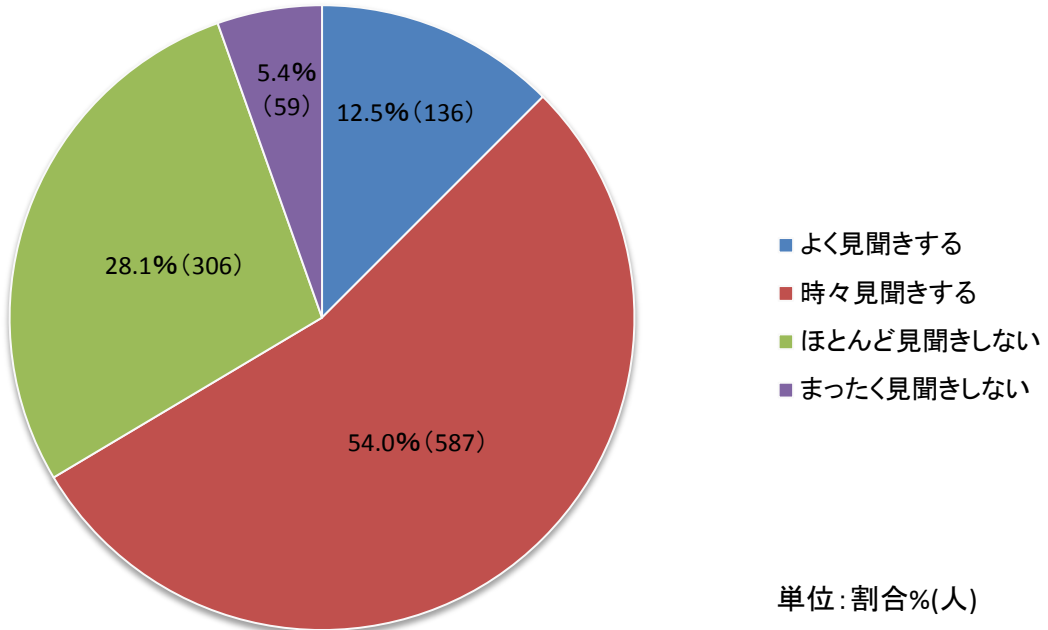
### 問1:防犯ボランティア活動への参加経験はありますか



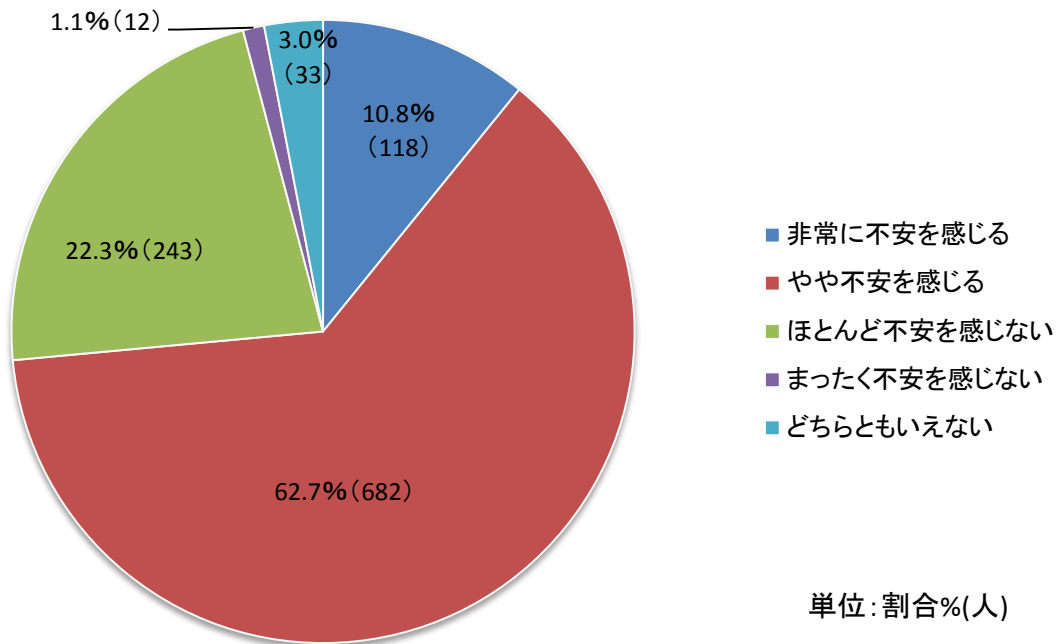
### 問2:「自分たちの地域は自分たちで守る」という自主防犯への考え方についてどう思いますか



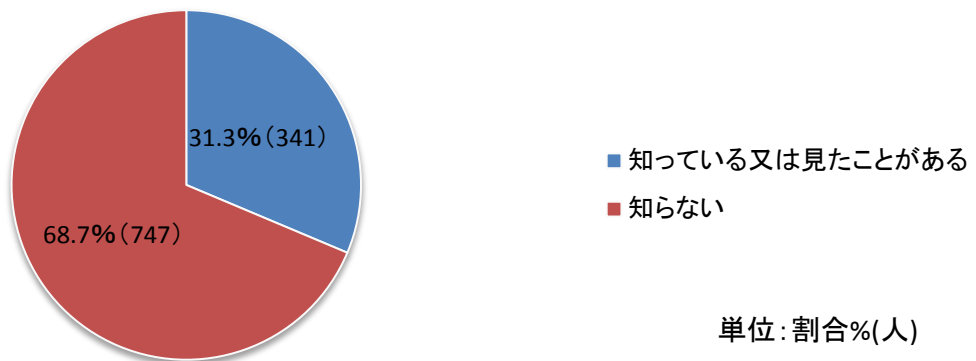
### 問3: 地域の犯罪に関する情報を見聞きする機会がありますか



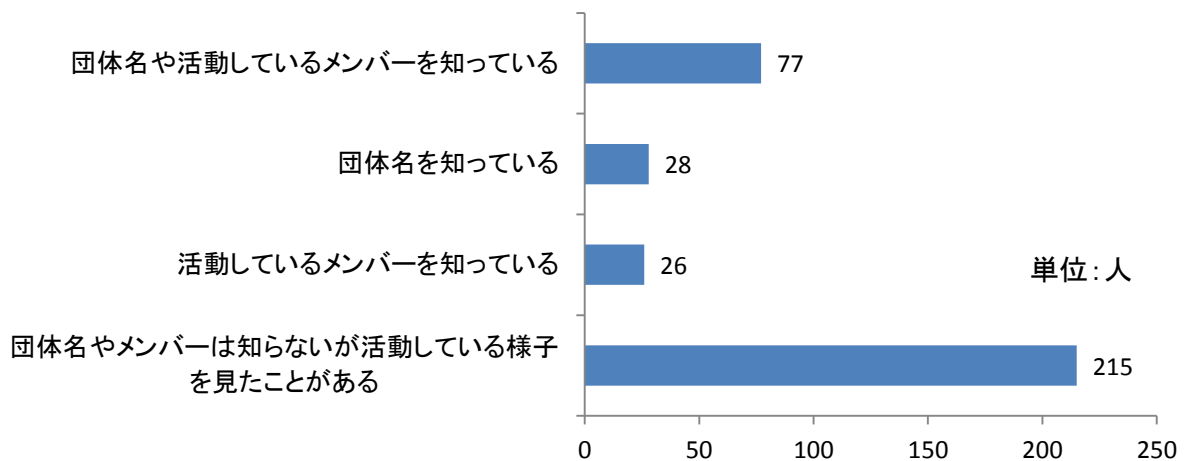
### 問4: 最近の地域の治安についてどう思いますか



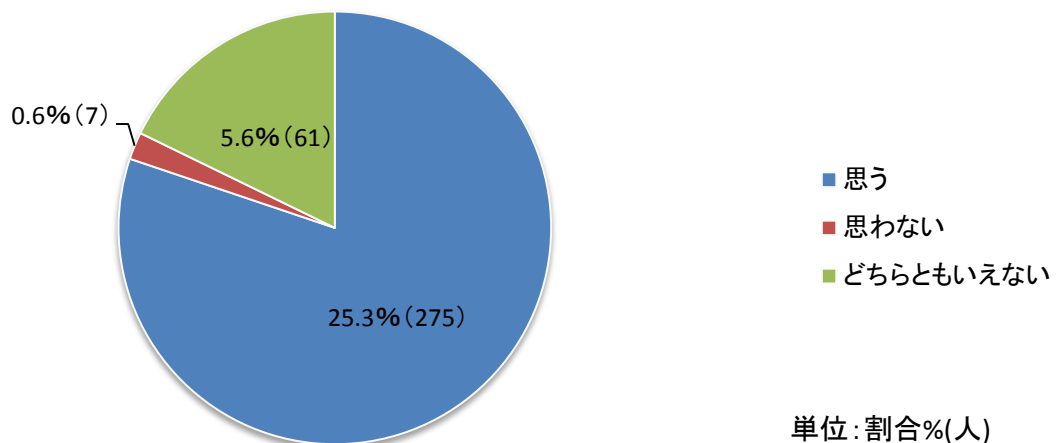
### 問5: 地域で活動する 防犯ボランティア団体を知っていますか



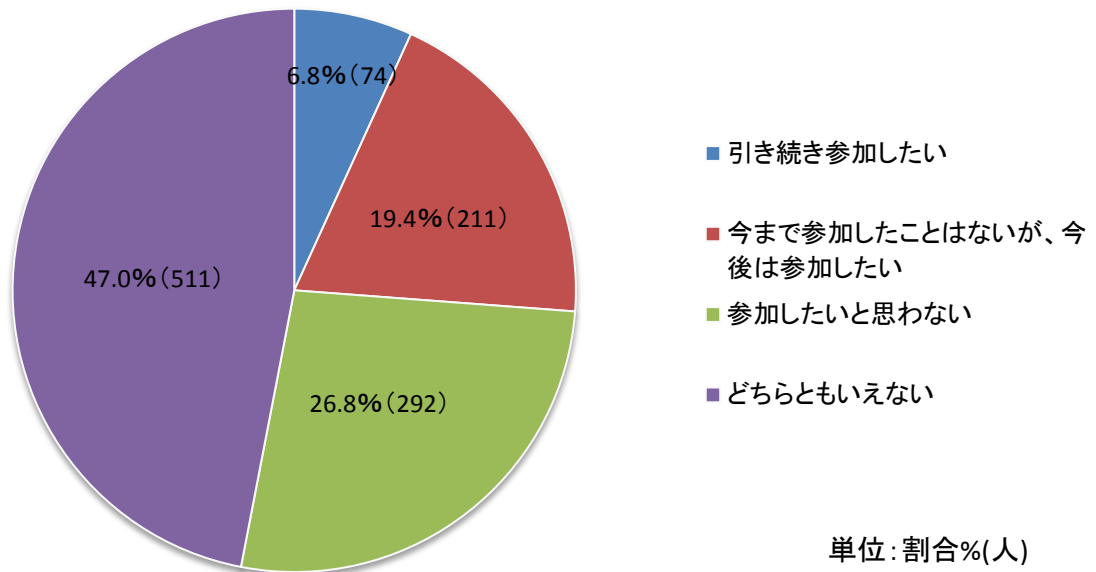
### 問6: 団体名やメンバーについて知っていますか



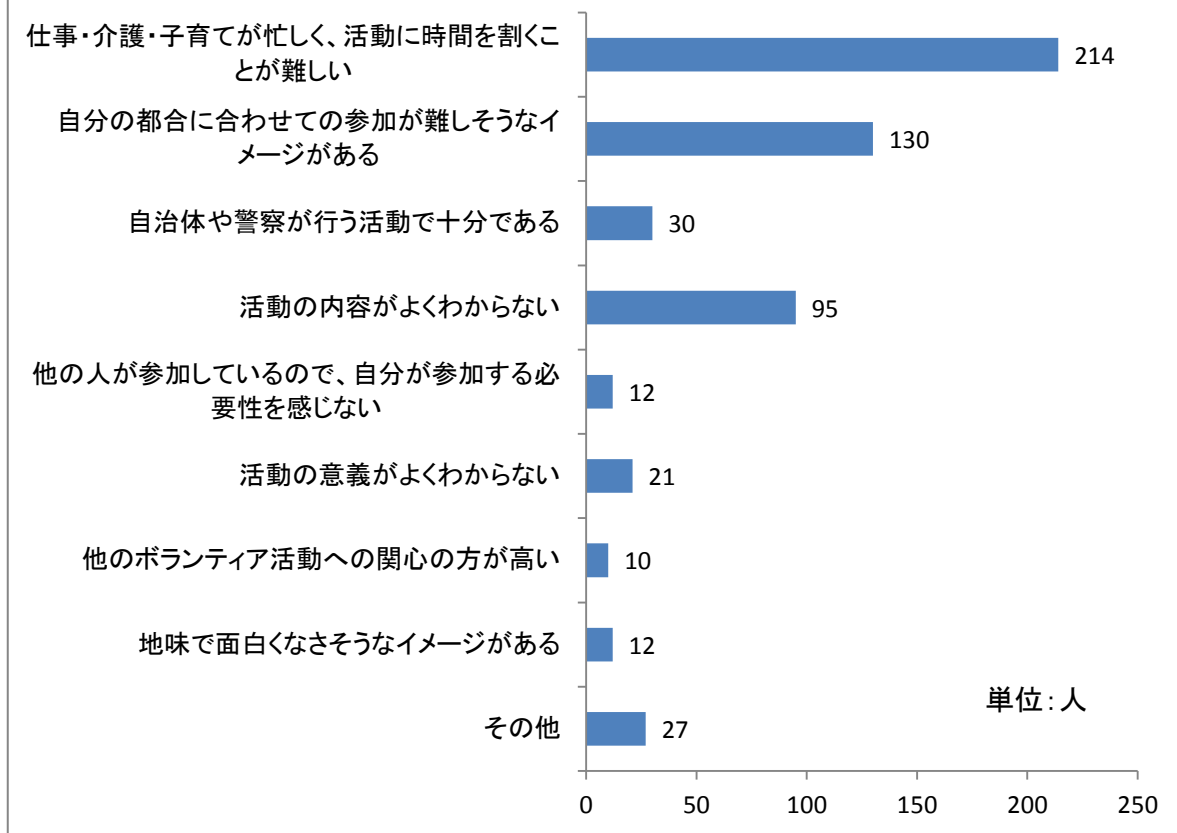
### 問7: それらの団体の活動は地域の安全のために役立っていると思いますか



## 問8:防犯ボランティア活動に参加したいと 思いますか



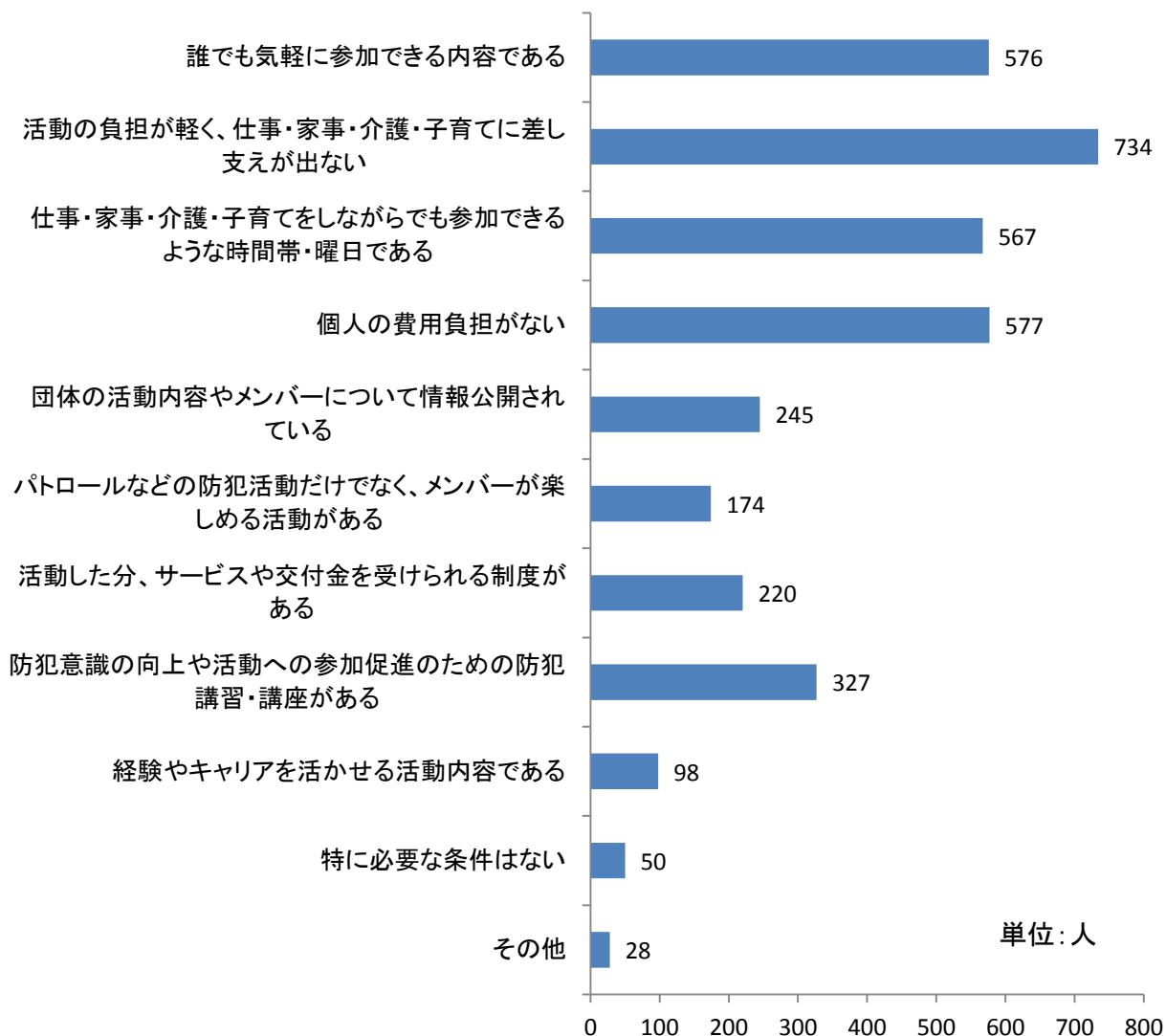
## 問9：防犯ボランティア活動に参加したいと思わない理由は何ですか(複数回答)



### 「その他」の意見

- ・年齢が高すぎます
- ・地域の人との関わりがない
- ・年齢的に無理です
- ・面倒くさい
- ・心筋梗塞を発症し継続できなくなった。75歳をすぎ、夜間の外出、運転をひかえています
- ・いつ、どこで、どのような活動をしているのかがわからないから
- ・内容がわからないが、参加したことで、危険な目に合わないかが心配
- ・活動しているのが老人ばかりの中、無償で危険のリスクを負いたくない
- ・危ない。けがをした際の保障がない
- ・女なので、逆に危ないかもしれないので
- ・小さな子供連れなのでできません
- ・年齢的に難しい
- ・もし、犯行に出くわした時どう対処したらよいかわからない
- ・年齢的にきつい、積極的な参加ではなくその時の状況で支援したい
- ・私は身体障害者の為 活動に参加することは無理であると理解しています
- ・女性はやはり色々怖い面があります
- ・責任が重い
- ・年寄りだから
- ・巻き込まれる可能性があるかもしれない
- ・持病があり、とても余裕がない
- ・この世のなか、いろいろな人が住んでいて、もし活動中自分に被害が及ぶと怖い
- ・活動するには身体的な問題がある
- ・家族が参加している
- ・私は女性で、力がないので防犯に自信がない。女性でも出来る内容があれば知りたいです

## 問10: 防犯ボランティア活動に重要な条件は何だと思われますか(複数回答可)



### 「その他」の意見

- ・マンションの場合はどうすれば参加でき、貢献できるのかが分からない。回覧のように回して当番制になっているのかも不明です。年齢制限もあるのでしょうか？
- ・被害に有った時の補償は誰がする
- ・活動のための健康維持の理由でスポーツセンターの利用券などが配布されるとよいと思う
- ・自分達の平和・治安・財産は 自分達で守ろうとする意識
- ・武道の経験者
- ・ボラであっても活動に危険性が伴うことを理解するとともに万が一の対応、補償制度を明確にする事
- ・問題と目的を明確にし誰でもわかるようにする
- ・補助金や交付金など一切の補助はなく自主的な意志で参加できること。行政は組織作りのサポートだけ。ボランティア意識を醸成する下支え。補助金があると動機の不純な者が混ざる可能性がありモラルが下がる
- ・武力・体力・正義感
- ・個人、個人自覚を持つような指導を、自分は自分で守る意識を高める様に指導を
- ・ケガや死亡した際の保障
- ・参加しない人への防犯講習など意識付けが必要だと思います

- ・ボランティアの安全性の確保
- ・上記選択肢は「ボランティア」に対するものと思えないので回答できない
- ・そもそもの暴走族などを警察がしっかり取り締まればよい
- ・簡単なことでよいので、誰でも参加することで意識が高まる。別所団地実施中。要内容充実
- ・地元の交番や警察署との連携がしっかりしていること
- ・特に時間や地域を限定せずに日常生活の中で防犯ボランティアに参加ができる様な仕組みを考えたかどうか？例えば防犯ボランティアの帽子を着用して買い物に行く、ウォーキングをする、等の活動はどうか？
- ・外国人の方など地域ルールを知らない方にも参加できるようなものだと良いと思う
- ・活動が的を得ていること
- ・日曜日に開催してほしい
- ・町内などで、半ば強制的にやらなければならないのならば、必要ないのではないかと思う
- ・そもそも防犯ボランティア活動の意義がよくわからない
- ・個人の趣味の時間が大切で、余裕がない
- ・活動の意義を参加者に伝え、納得させられる仕組みがある
- ・気軽さより責任感や熱意が必要
- ・防犯ボランティアが何なのか結局わからなかった
- ・万が一の時に保障を受けれるように、市で保険をかけていただきたい
- ・特定の個人に負担が集中しない活動。また、特定の個人だけが得(金銭含む。)をしない活動。特定の個人が周りを支配しない活動。
- ・はじめの一歩でくじけるともう二度と活動に参加しなくなる。これから防犯活動をしようと一歩踏み出した市民に対してもっと積極的な支援が必要
- ・警官同伴等による迅速な安全確保が可能なこと
- ・防犯カメラの設置を計画的に進めると良い。防犯カメラの設置補助金も良いのではないか？